

会 議 記 録

会議の名称		第４回守谷市学びの多様化学校設置検討委員会		
開催日時		令和８年８月６日（木） 開会：午前１０時００分 閉会：午後０時１５分		
開催場所		守谷市役所３階 庁議室		
事務局（担当課）		教育委員会 教育指導課		
出席者	委 員	奈幡委員長、小林副委員長、直井委員、福島委員、染谷委員、鈴木委員、青山委員、秋田委員、片岡委員、石川委員、古橋委員、永野委員、宇佐見委員、谷川委員、高木委員、永井委員		
	その他	学びの多様化学校マイスター 黒沢氏		
	市職員	教育指導課 望月		
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	３人
公開不可の場合はその理由				
会 議 次 第		1 開 会 2 委員長あいさつ 3 協議事項 （１）「守谷市学びの多様化学校基本方針（案）」について （２）「転入学のてびき（案）」について ※非公開 （３）その他 4 閉 会		

1 開 会

- ・出席委員：16名 ※委員の過半数が出席しているため成立（要項第6条第3項）

2 委員長あいさつ

- ・奈幡教育長あいさつ

3 協議事項

（1）「守谷市学びの多様化学校基本方針（案）」について

事務局から「守谷市学びの多様化学校基本方針（案）」について、これまでの議論の論点整理をもとに説明。前回までの委員会における各委員からの意見を分類・整理し、協議件数の多かった「教育課程・授業時数」および「学校理念・社会的自立」を中心に説明を行う。

【説明内容】

1. 教育課程・授業時数について

- 新設教科「アンクレ Time」（基礎の定着・補完）および「なないろラーニング」（STEAM 学習を取り入れた探究学習・技能教科の補完）を位置付け、児童生徒が自律的に学べる構成とした。
- 授業時数や時間割案については文部科学省と協議を進めており、ゆとりと柔軟性をもたせた時間割編成とした。

2. 学校理念・社会的自立について

- スクールコンセプト「やわらかく、ゆるやかに、ゆたかに、学ぶ」に基づき、地域・社会とのつながりや自己決定、将来の社会的自立を目指す内容を方針に反映した。
- これまでの不登校対策の取組についても、方針内に追記・可視化した。

【主な質疑・意見交換】

● A 委員・B 委員・C 委員

時間割やカリキュラムが固定的に見えないよう、生徒一人ひとりの状況に応じた選択や居場所としての柔軟性が伝わる表現・見せ方を工夫すべきである。

● 事務局

組織的なサポート体制や、いつでも個別に対応できる職員の配置など、基本方針や手引きの中で分かりやすく補足説明を行っていく。

● D 委員

本市が目指す多様化学校は、「支援・居場所型」と「個別・探究的な学び型」の両方の側面をもっている。これらが一般市民や保護者に分かりやすく伝わるよ

う、周知・発信方法等を検討してほしい。

- **E 委員**

安心して過ごせる居場所があるからこそ学びが深まるという点を明確に発信することが、保護者や子どもたちの安心につながる。

- **黒沢マイスター**

基本方針として十分に練られている。少人数指導や手厚い人員配置など、生徒に寄り添う大人が多いという学校の魅力を言葉で補足・強調すると良い。

- **副委員長**

委員からのご意見を反映させた修正案を作成し、パブリックコメント実施前に再度委員へ共有した上で最終案を取りまとめていく。

(2) 「転入学のてびき（案）」について

※守谷市情報公開条例等に基づき非公開

(3) その他

- ・ 次回スケジュールについて